

平成 28 年度第 7 回栃木県支部役員会議事録

日 時：11 月 12 日（土）9：30～11：10

場 所：栃木県国際交流協会 研修室

1. 役員出席状況（敬称省略）

出席者：小黑幸市、黒須重富、久芳良則、宮下治、川上寛児、黒川昌司、田仲喜一郎、西谷元則、
委任状提出者：福田一郎、亀田則男、谷口雅昭、羽山定治、柏崎和久、新井達夫、稲葉 茂、篠原
正美

2. 審議事項

（1）組織活動費の値上げについて（小黑支部長）

関東甲信越県支部として 10 月に地域組織活動費の引上げを要望したと報告があった。

要望事項は、「交通費の支払い」、「事務所整備費」、「受験者発掘事業の提案（栃木県支部は要望なし）」であり、本部で検討中とのことである。

当支部の事務所は、来年 3 月に借用期限が来るので「市内大学の一部を借りる案」と「現在のまちぴあ」で検討中である。

市内大学案は、「大学の授業としてのカリキュラムで貢献できれば可能性がある」とのことのため、具体的な内容を検討する。

市内大学案が実らない場合は、まちぴあを継続する。借用期限が来るので継続申請することで了承した。

（2）技術士が提案できる特別講義について（川上幹事）

市内大学案は、「大学の授業としてのカリキュラム」として、川上幹事から提案があった。

今後、小黑支部長、黒須副支部長、川上幹事で具体的な内容を検討していくことでの了承を得た。

（3）企画・研修委員会（宮下委員長）

・本日開催される科学技術講演会についての報告があった。

参加者 25 名（うち会員 22 名）

今後の科学技術講演会は月刊技術士にある講師などで 2～3 月に企画委員会から素案をだし、役員会で決定するよう要望があった。

・協賛団体向け CPD 研修会（第 2 回）

11 月 25 日に開催するため、広報活動を行う。建設業協会や測量協会などに支部長を出向き参加を呼びかける。

・12 月講演会交流会について

講演会は、日韓技術士国際会議の分科会講師の 7 名とすることでの了承を得た。

時間が少ないため、役員会を 11 時 30 から開催する。

川上幹事は日本語版の資料を用意していただく。

報告事項

（1）国際委員会（小黑支部長）

・浙江省科学技術訪日団

11月22日に訪日する。歓迎会は行わないが、ホテル三日月に宿泊するため、希望者は福田国際委員長に連絡する。

(2) 業務委員会（小黑支部長）

・技術士斡旋業務を増やす施策について

業務斡旋が思うように行かないため、今後力を入れる。業務委託名簿作成する。

「産業技術センター、中央会、商工会議所の登録や情報交換の拡充」や「近接県支部と連携をしていく」などの報告があった。

(3) 市貝プロジェクト第2回会合記録

・芝桜乳酸菌、多田羅沼浄化、理科教室、炭焼きツアー、メタン発酵見学会などの進捗状況と取り組むについて報告があった。

芝桜乳酸菌は、最終目的を再検討する。

多田羅沼浄化は、ワークショップへの参加と役場への提案書作成を行う。

理科教室は、動きがない。町のイベントに県支部で今出来る出し物で参加することを検討している。

炭焼きツアーは進んでいない。

安心・安全地域モデル（メタン発酵等）を企画課に提案する予定。

以上

議事録 署名人

支部長 小黑 幸市 _____

議事録署名人 黒須重富 _____

議事録署名人 黒川昌司 _____

書記 西谷元則 _____